

浦幌新聞



2023年（令和5年）
2月27日（月曜日）

発行元

特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート

浦中 知愛の時間 発表会

12月20日（火）に、上浦幌中学校の全校生徒が、総合的な学習の時間「知愛の時間」の発表会を行い、各学年が学びの成果を発表しました。

1年生 地域再発見

1年生は「地域再発見」をテーマに、浦幌町の魅力について学びました。発表会では「浦幌町には若い人や浦幌町に興味を持った町外の人が集まることを知り、今後は十勝全体に視野を広げて学んでいきたい」と話しました。

2年生 SDGsに着目

2年生は「地域づくり」をテーマに、十勝管内の他町村でのSDGsに関わる取り組みについて宿泊学習などを通して学習しました。発表会では、地域課題の解決に向けた

3年生 町の魅力を発信するには

3年生は「浦幌未来づくり」をテーマに、道の駅を活用した町の魅力発信について発表しました。また、修学旅行先で浦幌町のPR活動を行ったことで、浦幌町にふるさと納税をした人がいたことを知り、「小さなことでも行動に移すことが、浦幌の未来に

取組みや、未利用資源の活用について学んだことを発表しました。また、来年は十勝管外のSDGsの活動に目を向けて学習を深めていくと話しました。

繋がることを実感した」と話しました。最後に「3年間の知愛を通して、私たちの地元はここにしかない。浦幌町の未来のために些細なことでも行動していきたい」と伝えました。

（地域おこし協力隊 上野結子）



浦幌中 1年生 職業調べ 発表

12月8日（木）に、浦幌中学校の1年生が職業について調べたことや職業講話を通して学んだことを発表する「ライフプラン発表会」が行われました。

浦幌中学校の1年生は発表会で、将来の目標やライフプラン（中学校卒業後、どんな学校へ行き、どんなことを経験し、学び、生きていくかなど）、調べた職業の仕事内容、職業講話を受けての感想などを発表しました。経営準人さんは「働くとは、自分のためでもあるけれど、誰かのためになること。今回の学習で、働くことの本質的な意味を考えるきっかけになった」と話しました。伊藤耀史さんは「職業講話で印象に残ったのは、宮川順子さんのお話。自分の子どものために夢を変えたことがすごいなと思いました。

将来、自分の子どもができれば、その子を大切にしていきたいです」と感想を述べました。

（地域おこし協力隊 上野結子）



こどももおとなも 寒い冬をたのしもう！ しゃっこいフェス2023開催



時間限定イベント「浦幌大
将決定戦く冬の陣」(企画…
北海道教育大学釧路校の皆さ
ん)では、子ども達は2チー
ムに分かれ、チャンバラ対決
をしました。その後の「カス
タムそりレース」(企画…冬の
イベント実行委員会)では、
千と千尋の神隠しのカオナシ
の衣装をした、チーム「いつ
も何度でも」が優勝しました。

1日目

子ども達が、寒い冬を楽しむ「しゃっこいフェス」が、
1月21日(土)と22日(日)の2日間、開催されました。
1日目は、上浦幌中学校グラウンド、2日目はうらほろ
森林公園みのり館前の駐車場をメイン会場として、さま
ざまなイベントが行われました。

また、常設イベントの「雪
の滑り台」では、子ども達が
タイヤチューブの上に乗って
滑り、とても楽しそうでした。



2日目

時間限定イベント「雪山宝
探し」(企画…浦幌学園小中一
貫CS委員会)では、子ども
と大人も本気で、雪山の中か
ら浦幌のお宝を探しました。
お宝は、浦幌の海の幸「あき
あじ」や「いくら」、畑の幸
「白花生」のようかんやパス
タソース、浦幌牛乳などでし
た。その後の「カスタムそり
レース」では、チーム「タコ
ボーイ」が優勝しました。

最後の「ファイヤール
ス キュー」(企画…浦幌消防署)



では、消防にちなんだ障害物
のレースが行われ、子ども達
は雪に足をとられながらも、
全力で走っていました。
(地域おこし協力隊 上野結子)



編集後記

しゃっこいフェス2023の2日目、上野は、時間限定
イベントの司会・進行を務めました。私は人前で話すこと
が苦手なので、めちゃくちゃ緊張しました。さらに、私の
声はマイクを通して(声質的に?)声が全然通らないの
です。とにかく本気で、頑張って声を張り上げました。来
年は、静かに撮影担当をしたいなと思います…(笑)

上野(うえの)